

## 現実を支配できるプランナーになれ！

東方からの賢者・ワイズマンです。

この時、この瞬間にあなたはプランナーになります。

それは現状にがんじがらめに押さえつけられ、  
「現実」が常に制約としてあなたに重くのしかかっている  
それから解放される瞬間です。

それは「論理(ロジック)が先行する」その時です。

どうも東方の賢者ワイズマンです。

たぶん、多くの方は現実に縛られて生きています。

何をやっても上手くいかず、もうこれ以上  
どうしていいのかわからない。

だからといって、何もしないワケにはいかず、  
とりあえず、生活している・・・そんな状態の方って  
少なくないと思います。

**それは、「現実が先行している」状態です。**

例えば、明日のカードの引き落としに現金が用意出来ない。

しかたなく、サラ金から借りるか？

それとも友人から借金してその金を工面するか？

その「現金が足りない」という現実には、  
前日になる前にはわかっていたにも関わらず、  
前日になるまで「なんの手立ても打たなかった」

それは「現金が足りない」という現実が先行している状態です。

現実には追い越されてしまった。

だから、その時に採用出来る手立て、  
方法はその分、限定されてしまうのです。

その「現実には必ず来る」のです。

でも、多くの方はその「現実から目を背ける」のです。

## 人間とは弱い存在です。

これを哲学者のマルティン・ハイデガーは頹落(たいらく)という言葉で呼んでいます。

人間は「死」という現実には常に目を背けて生きている。

これは生き方のみならず、ビジネスにおいてもそうです。

「行き当たりばったり」という言葉があります。

無策で現実にはその都度対応しているような状態です。

決して健全な経営とは言えません。

でも、ほとんどの中小企業・零細・個人の類のビジネスは  
この行き当たりばったりで現実には先行されているのです。

しかし、ある一瞬に「論理が先行する」

その瞬間が必ず来ます。

私のプランニングメソッドがソレです。

例えば、私の場合、ジムでトレーニングしているときに閃くのですが、「これってこういうロジックで解決出来るかもしれない！」

常に現実を直視し、現実をコントロールすることがプランナーという仕事ですから、ある一瞬に「閃く」のです。

そう

## 「倫理が現実よりも先行する」

まさにその時、私はプランナーになり、この現実をコントロール、いや、支配できるのです。

そして、この論理こそ「あなた自身のコンテンツ」です。

多くの方はビジネス書を読みあさり、セミナーに参加し、情報だけを頭に詰め込もうとします。

しかし、それは「あなた自身のコンテンツ」ではありません。

「他者のコンテンツ」です。

他者のコンテンツは他者の経験において通用するモノでしかないのです。

しかし、常に現実という障壁を直視し、それを乗り越えようとする意志があなたにあるのなら、必ず論理(ロジック)が閃きます。

そして、その論理こそあなた自身の経験というコンテンツなのです。

## あなたがプランナーになる瞬間。

それは常に現実に先を越されない論理を得ることです。

で、実はこの文章もつい先ほど、  
ジムでトレーニングしている時に閃きました。

なぜ、レスポンスが思ったように取れないのか？

その現実に対して、この現実には僕の現実ではなく、  
僕の会員の現実であり、最大の悩みです。

それはまず「現実をよく見ていない」

直視していないのです。

だから、論理がない。

現実が常に彼の前を通り過ぎているのです。

それすらも気づかないのかも知れません。

だから、論理を先行させる。

現実を支配できるプランナーになれ！

それだけです。

東方からの賢者・ワイズマン



■補足

このレポートは今井秀明君のメルマガで紹介されたものです。

彼のメルマガに登録しておきますと、この“東方からの賢者”の正体や実例等が明かされるみたいです。

<http://digital-work.co.jp/site/mail>

今井秀明君とは(苦労人のナイスガイです！)

<http://tenchi-souzou.com/prof.pdf>

東方からの賢者・ワイズマンの実績等(これはしまだくんが紹介してくれてたね、ありがとう)

<http://tenchi-souzou.com/imai/sensei.pdf>